

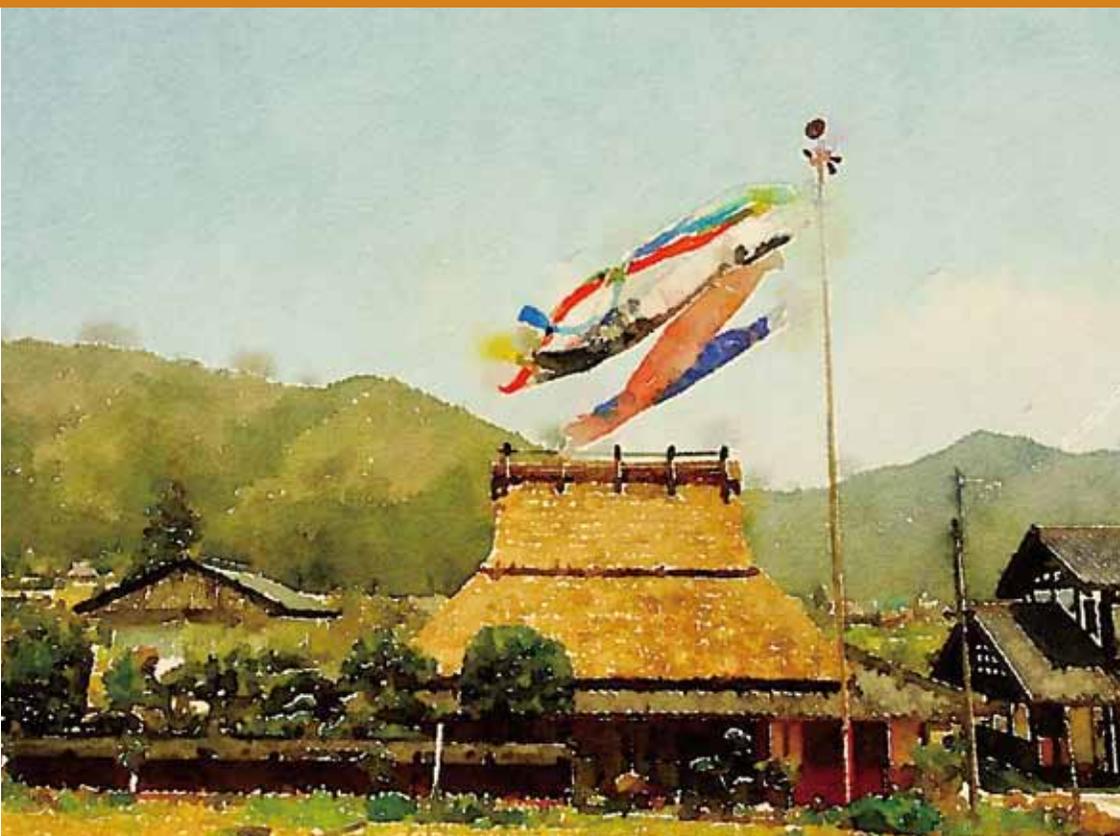


集落の教科書シリーズ

宮島 田舎暮らし 読本



京都府南丹市美山町宮島地区



はじめに

「宮島田舎暮らし読本」の発刊にあたって

宮島田舎暮らし読本に目をとめ、手にとって頂きありがとうございます。

これから田舎暮らしを始めるにあたり、宮島地区ってどんなところ？から始まるか
と思います。読本では、宮島9集落の生活、習慣、ルールをまとめてみました。

この本を読んでもらい、田舎暮らしは難しいなあと思われる方、いやそんなに難
しくないよと思われる方、両方おられるでしょう。十分に理解と納得の上で、あり
のままの宮島を受け止めて頂き、気に入っていただければ、ぜひ宮島で田舎暮ら
しを始めていただけると幸いです。

最後に、発刊にあたり、編集にお世話になったNPO法人テダスの方々、並びに取
材にご協力いただいた関係各位に心からお礼申し上げます。

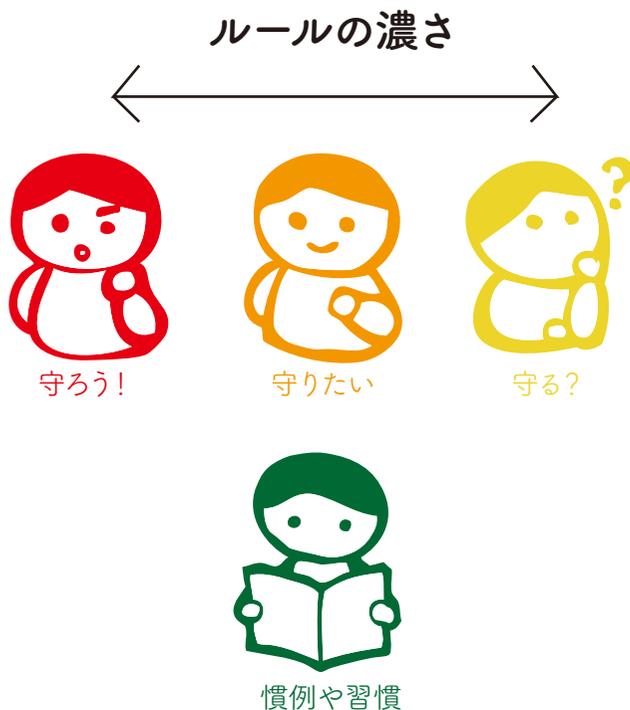
2017年3月吉日

宮島振興会 会長 南清



ルールには濃さがある

集落のルールと一口で言っても
つよいルールから、弱いルール、口々に伝えられている慣例まで
色の濃さに違いがあります。
ルールをどの程度守った方がよいのか、
その基準を示しますので、参考にしてください。



この教科書にあるのは、2017年3月時点でのルールです。
ルールの改善は常に行われており、宮島地区内の集落に住めば、
あなたも私達と一緒に住みよい集落を作る仲間となります。

1. 目次

- P.1 はじめに
- P.2 ルールには濃さがある
- P.3 目次

- P.5 宮島ってどんなところ？ 宮島の風景
- P.7 これはしっとけ！ 住人の想い、移住者の声

コラム

- P.9 引っ越したらまずこれをしよう！
- P.10 宮島暮らしあるある お祝いごと、おくやみごと

美山町 宮島地区の様子

- P.11 美山町はどこにある？
- P.13 美山町5村の魅力
- P.15 宮島地区の「主な施設」
- P.17 宮島地区の「団体いろいろ」
- P.19 宮島地区の「田んぼと畑のこと」
- P.21 宮島地区の「主な行事」
- P.23 宮島地区の「お宮さん、お寺さん」

宮島地区の集落の様子

- P.25 「原」集落
- P.27 「板橋」集落
- P.29 「宮脇」集落
- P.31 「下吉田」集落
- P.33 「島」集落
- P.35 「長谷」集落
- P.37 「上司」集落
- P.39 「和泉」集落
- P.41 「静原」集落

南丹市の様子

- P.43 南丹市ってこんなところ

移住者を応援し守る制度

- P.45 「住居」
- p.47 「消防・防災」
- P.49 「子育て」
- P.51 「医療・交通・情報」

データ集

- P.53 こんな時は…?逆引き辞典
- P.55 電話帳

2. 宮島ってどんなところ？

宮島の風景

まずは四季を感じてください



城山頂上から見た宮島地区

水・空気・野菜が美味しい



佐本橋から由良川を眺める



城山の山頂から



夏祭りの冷やし野菜

自然がいっぱい



昔から育てられてきた木々



コスモスとうろこ雲の秋



あぜ道に咲く彼岸花



田んぼの緑が映える梅雨



雪景色の和泉商店街周辺



森が身近にある暮らし

美山町の中心地



南丹市役所美山支所



美山小学校



長谷運動広場



美山かやぶき美術館



美山文化ホール



エビスウッズガーデンカフェ

昔も今も



美術館で能の披露



受け継がれてきた神輿を担ぐ



母と娘の稚児行列



全国から自転車ファンが集まる田舎道



かやぶき屋根の民家

あたたかい人々が、待っています



よもぎの餅つき



地区対抗運動会



宮島の町並み

2. 宮島ってどんなところ？

これはしっとけ！ 住人の想い、移住者の声

住人のみなさんと、先輩移住者さんに、宮島のあれこれを訊きました。

つきあい

住人

- ・顔をみたら自分から挨拶。
- ・ご近所つきあいが濃くて良好。
- ・おまつりやイベントはみんなで盛り上げる。
- ・年齢を超えたおつきあいができる。
- ・集落内は皆顔見知り。
- ・おせっかいをやく人が多い。

移住者

- ・はじめのあいさつまわりが肝心。
- ・どの人にも元気に挨拶しよう。
- ・すぐに顔見知りが増えるから安心。
- ・同じ苗字の人が多いので下の名前を覚えよう。
- ・地域行事や日役ひやく(共同作業)に積極的に顔を出すようにしましょう。



→P.9コラム 引越したらまずこれをしよう！ P.25~42宮島地区の集落の様子

景観・自然

住人

- ・田園風景、城山、由良川など、四季によって様々な顔がある。
- ・自然がいっぱい！空気が澄み、街灯が少ないので星がきれい。
- ・由良川の上流域に位置するため、水が美味しい。国の天然記念物であるオオサンショウウオやホタルが生息している。

移住者

- ・四季折々、どの時間帯も絵になる。
- ・写真好き、自転車好きに特におすすめ。
- ・川を見ると魚が泳いでいるのが見える。
- ・遠くに遊びに行かなくても子どもが遊ぶ場所がたくさんある。
- ・排気ガス由来のアレルギーや花粉症が、移住して改善されたという声もよく聞く。

農業、山、動物

住人

- ・農地は、交渉次第で安く借りられることもある。
- ・山菜とり、松茸、鹿、猪など、山をなりわいにしている人もいる。山とはいえ私有地。勝手に入山しないで。
- ・鹿、猪の獣害がある。
- ・マムシ・ヒルなど危険な生き物もある。



移住者

- ・農林業の課題は多いが、美山ブランドが強いため移住者が多く活気がある。
- ・農事組合や水利などの費用もかかる。少しずつできる範囲でやること。
- ・新たに農業をはじめる場合、他市町村に比べ取得農地面積が少なく済む。
- ・山も私有地なので、入山の際は地元の人と入ると良い。

→P.19 宮島地区の「田んぼと畑のこと」

買い物・お店・病院

住人

- ・スーパーなど大きな店はないが、食料品店、薬局、雑貨屋、肉屋など小売店、カフェ等がある。
- ・大きな病院はないが、美山町には、美山診療所がある。
- ・民宿やシェアハウスもある。



守りたい

移住者

- ・野菜は近隣農家で作られた新鮮で安い物が手に入る。魚も日本海から行商が来ている。
- ・大きなスーパーへは車で30分かかるが、生協など宅配サービスを利用する人も多い。小さな子どもがいる世帯はメリット大。
- ・職場は都会に比べて選択肢と賃金は多くないが、暮らしのための出費も少なく済む。
- ・環境が良いので医者にかかることが減った。
- ・ヨガや自転車など身体を動かす先生がいる。

→P.15 宮島地区の「主な施設」

交通

住人

- ・交通が不便(駅が遠い)
- ・鹿に注意。
- ・雪道の運転には注意。
道に雪が積もってなくても凍結していることがある。
車は悪路に強い四駆がオススメ。
- ・タイヤを替えるのは大抵11月末。
- ・雪の多い年は、朝一番から家の前を除雪。

移住者

- ・バスの便は少ないので、車が必要。
- ・信号が少なく快適だが、スピードを出す人、バイクや自転車の事故が多いので注意。
- ・夜は鹿など動物が出る。よく出る場所を地域の人に教えてもらっておくとよい。
- ・雪が降ると主要道路には除雪車が入る。家から主要道路までは自力で除雪!
- ・1回の降雪量は20~30センチほど。

→P.45~52 移住者を応援し守る制度 P.51 南丹市の交通・通信

ルール、風習、プライバシー

住人

- ・集会や日役には参加して。
- ・集落の行事を知ってほしい。
- ・消防団には入ってほしい。気持ちは強制入団だが、強制はできない。
- ・屋外でゴミを燃やしたら119番される。
- ・何かしたら次の日には噂になる。
- ・集会や行事の欠席は必ず連絡すること。



守ろう!

移住者

- ・はじめはわからないことだらけ。地域の区長さんや組長さんに聞くと色々教えてくれる。素直に聞いてみよう。
- ・地域行事や日役が活発なので、はじめに年間行事を押さえておくとよい。
- ・通りに面した家に住むと、生活が丸見え。
- ・注意してくれるけど怒っているわけじゃない。

→P.17「団体いろいろ」 P.21「主な行事」 P.23「お宮さん、お寺さん」

引っ越したらまずこれをしよう！

市役所に行って、住民票を移すだけが引っ越しではありません。
まわりのことをよく知って、よりよい新生活のスタートを切りましょう！

① 区長さんに挨拶しよう。

各集落ごとに自治をする組織があり、そのトップが区長です。(P.16参照)

② ご近所さんに挨拶しよう。

区長さんに挨拶にいくと、年間行事からゴミ捨て場まで色々教えてくれます。「集落(区)」より小さい「組」という単位(約5~15軒)があり、その範囲には挨拶まわりをすると丁寧です。



挨拶の際、ちょっとした
手土産を持っていったら
喜ばれました！ 移住者F

餓死することが
難しい…?!

宮島暮らしあるある…

あるある① 家に帰ると玄関に野菜が置いてある

ある日突然、玄関や軒先に野菜や米が置いてある！
キツネかタヌキかモノケか…そんな心配は無用です。
家で食べるための野菜を自前の畑で育てている家庭が多く、
沢山とれたので分けようという心意気。

どなたがくださったかわかれば、
お礼をしましょう。言葉だけでもOK。
何かの折に、声をかけたり助けたり。
風通しの良い集落の付き合いです。



お祝いごと、おくやみごと

・お祝いごと

結婚や出産のお祝い、新築、快気祝いなどを、簡素化していこうという流れがあり、おめでとうと気持ちを表現するだけでも大丈夫。かつてはお祝い金の取り決めがあったが、今は薄れている。



守る?

・お葬式

お葬式の連絡は、喪主→区長→組長→各家の順に伝達される。葬儀社で行う場合でも、組単位で6人ほどが受付などをお手伝い。香典の相場を集落によって取り決めている所もあり、ご近所さんに聞くのが無難。美山町内の住民間では、香典返しをしないのがルール。美山町外の人に関しては、その限りではない。



慣例や習慣

・墓地のこと

墓地の管理者は、お寺や区、住民同士などさまざま。移住者であっても、宗派や檀家に関わらず入れるところもあるが、どの場合であっても要相談。

おるけ〜〜?
(家に居るか?)

あるある② 呼び鈴なしで家に入ってくる

家でくつろいでいると、「おるけ〜〜〜?」という声共に、ご近所さんが玄関の扉をガラリ!!!!!!

宮島地区では呼び鈴不要!?

びっくりするかもしれませんが、驚かせたいわけではありません。同じ地域に住む者を、家族のように思っているからこそ。親しい間柄こそなのです。



慣例や習慣

3. 美山町宮島地区の様子

美山町はどこにある？

宮島地区など5つの地区を含む美山町は、京都府の中部に位置する南丹市にあります。南丹市は、滋賀県・福井県、兵庫県、大阪府に、接しています。隣町の亀岡市、京丹波町とあわせ「京都丹波」と呼ばれる地域で、昔から都の暮らしを支えてきました。



宮島地区からの車を使用した時のおよその所要時間

※南丹市について詳しくは P.43~ 南丹市の公共交通については P.52

南丹市は森林・水資源が豊富で、太平洋に流れる「桂川(大堰川)」、日本海に流れる「由良川」の水源があります。面積の約9割が森で、「芦生の森」と呼ばれる原生林が美山町東部に広がっています。その環境が評価され、美山町全域、日吉町、京丹波町、京都市の一部が2016年に、「丹波高原国定公園」に指定されました。



美山町は、豊かな自然とともにある昔ながらの暮らしや住宅を残しながらも、京都市街地に車で約1時間半、日本海へも約1時間で行ける距離にあります。



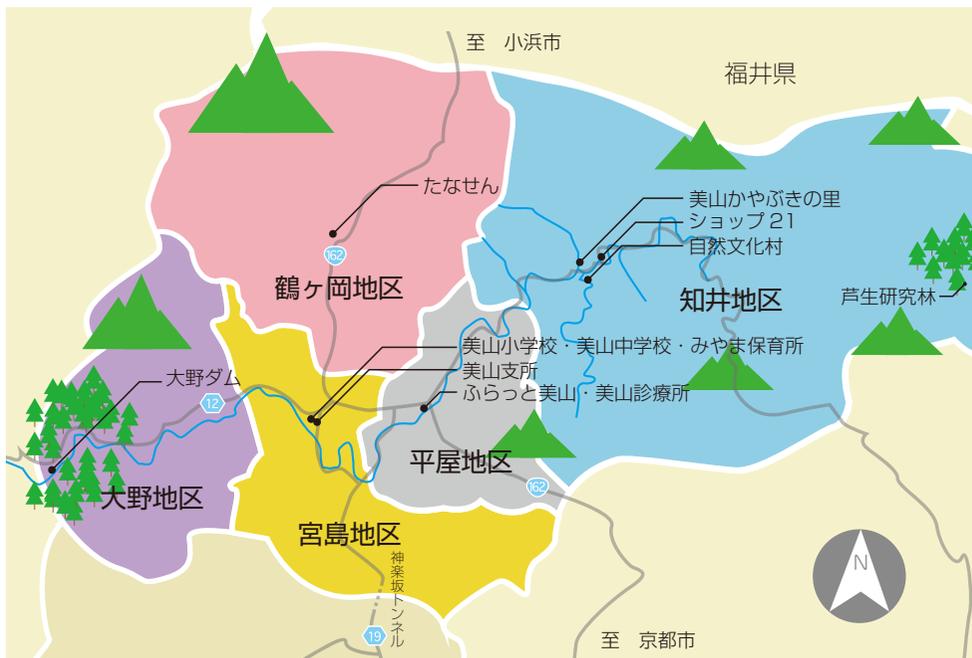
◀宮島地区の風景

3. 美山町宮島地区の様子

美山町5村の魅力

美山町は、5つの村が1955年に合併してできました。その区分は現在、行政区として残っています。

古くから西の鯖街道と呼ばれ、日本海若狭湾から京の都へ魚を運ぶ陸路の中継地点で、大切に受け継がれてきた自然環境と、歴史を思わせる伝統行事があります。



● 振興会とは？

5つの各地区で、振興会という自治組織があります。村単位の広域自治を担っており、集落から集まった要望を集約して市に提出したり、振興会新聞の発行など地区の広報を行ったりしています。

振興会機能の一部には、行政手続きの事務代行もあります。宮島振興会にその役割はありませんが、独自のイベントをしたり、移住者の呼び込みをしたりなど、ソフト事業に積極的に取り組んでいます。

また住人は、区費と一緒に振興会費を納めています。宮島地区の場合は月に300円を集めています。

宮島地区

南丹市役所美山支所や美山小学校、中学校、文化ホールなどがあり、行政機能として美山町の中心地です。由良川と棚野川の合流地点でもあります。



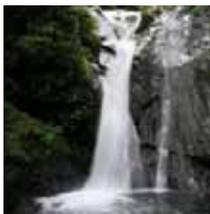
知井地区

「かやぶきの里」として知られ、かやぶき屋根の建物が多く残る、伝統的建造物群保存地区があります。芦生原生林など、古くからの生態を守っている森もあり、町内で一番広い面積を誇ります。



鶴ヶ岡地区

北部は福井県小浜市へ通じており、山間からの滝をいくつも見るができます。上げ松などの伝統行事をはじめ、鯖寿司や栃餅づくりなど、昔から伝えられてきた文化を大切にしています。



平屋地区

京都市から周山街道を通過して北上したところにあります。道の駅美山ふれあい広場や、美山牛乳の工場、美山町観光協会、美山診療所などがあります。



大野地区

由良川が流れ込む大野ダムは、公園としても整備されており、桜や紅葉のシーズンは特ににぎわいます。名陶工、野々村仁清の生家と伝えられる住居があります。



3. 美山町宮島地区の様子

宮島地区の「主な施設」

宮島地区は、9つの特色ある集落に分かれています。(詳しくはP.25~)

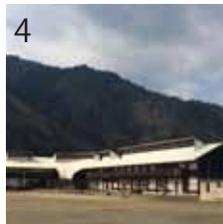
暮らしを支える施設の一部を紹介します。

宮島地区には、薬局、歯医者、消防署、駐在所、食料品店、精肉店、カフェ、仕出し屋、雑貨屋、贈答品店、衣料品店、電気屋、コンビニ、自動車整備所、プロパンガス、建築土木大工などあり。暮らしに必要なものはおおむね揃います



宮島にはこんな場所があります。

- 1 南丹市美山支所
- 2 美山町文化ホール
- 3 南丹市図書館美山図書室
- 4 美山小学校
- 5 美山中学校
- 6 みやま保育所
- 7 宮島振興会
- 8 美山消防署
- 9 宮島駐在所
- 10 美山郵便局
- 11 美山町森林組合
- 12 京都農業協同組合(JA)美山支店
- 13 美山エビスウッズガーデン
- 14 美山かやぶき美術館
- 15 遊心庵「百日紅」
- 16 美山町長谷運動広場
- 17 ふりーくおおまる(直売所)
- 18 やまざと市(直売所)
- 19 美山やすらぎホーム(介護福祉施設)
- 20 神田の水



3. 美山町宮島地区の様子

宮島地区の「団体いろいろ」

宮島地区には自治や交流のための様々な団体があります。
また、地域を守っていくため加入が必須の団体もあります。
地域の行事や団体に積極的に参加することで、早く地域に溶け込めます。



●年齢によって分かれるもの

20代

若手は地域の取組にひっぱりだこ！力仕事をまかされることもあります。
上手なやりかたを、年上の人にきいてみよう！

30代

●PTAと子ども会

以前子ども会が担っていたことを、学校PTAですることが多くなっている。
他地域の親たちと一緒に活動でき、親が中心とはなるが、子どものいない
世帯も全体で見守っている。

川で泳げるよ！

美山小学校PTA	登下校見守り、環境作業、親子活動、遊泳当番など
美山中学校PTA	学校の清掃作業など
子ども会	その集落に属する子の親が中心になり、地域と連携を とりながら子供の成長をみまもる。 (地域行事への参加など)

40代

50代

消防団(P.47~)や集落の役(右ページ)など、自治運営の中心を担っていく
世代です。地域で行われるイベントやお祭りでも、運営の中心になって
いるのはこの世代である場合が多いです。

自衛消防隊

全集落

消防団を退団した男性

火災時の初期消火活動が目的。集落に配置されている小型ポンプの点検と
防火講習会(年1回区と共催)。災害時の避難誘導、災害状況の点検を行ってい
る集落もある。

60代

●老人会とサロン

お話や食事会など住人同士の交流を深めるだけでなく、公民館や
お寺の清掃などの地域自治に関わる活動もしている。
若年者が関わることも増えている。

丸山クラブ	島・長谷・下吉田	清和クラブ	上司・和泉・静原		
老人会	長谷	笑美坂クラブ	板橋	和老会	和泉
島老人会	島	原クラブ	原	さざなみ会	上司

●年齢に関係なく加入できるもの

集落ごとに、農業など特定のテーマがあったり、住民同士で親睦を深めたり、自治運営の足りない所を補ったりする団体があります。詳しくはP.25～

Pickup

「つなガール美山」美山女子時間

男性のグループは多いけど、女性が情報交換できる集まりが少ない…そんな思いから、美山に住んでいるor美山が好きな女子の交流グループがあります。年に数回、女子会を開いて情報交換をしています。

【webサイト】<http://tsunagirl-miyama.com/>

●地域を守っていくために必要な団体

宮島地区にある9集落は全て、「区長」をトップにした各集落の自治を担う組織があります。区長は住人間の選挙によって選ばれ、4月から翌年3月までの一年間、その役目を担います。区長を含め概ね次のような役職があります。

区長・公民館長	——	区全体を把握し、区の行政を統括する。
副区長	——	区長を補佐する。
主事・事務局	——	連絡調整などの総務を担う。
会計	——	区の会計を管理する。
教養	——	人権学習会などを行う。
厚生	——	運動会や環境整備などを取り仕切る。
監査	——	会計監査を行う。
組長	——	区費を集める。連絡事項を伝達する。

※名称は集落によって異なることがあります。

移住して最初の挨拶や、何か気になることがあっての質問はまず区長にすると、トラブルが少ないです。



守ろう!

消火や防災を担う消防団、農地を守り皆でよりよい作物をつくる農事組合、森林資源を守る造林組合など、自分の住む地域を自分たちで守るための様々な組織があります。

田んぼや畑についてはP.19～ 消防についてはP.47～で詳しく紹介します。

3. 美山町宮島地区の様子

宮島地区の「田んぼと畑のこと」

農業の担い手を、宮島では待っています！

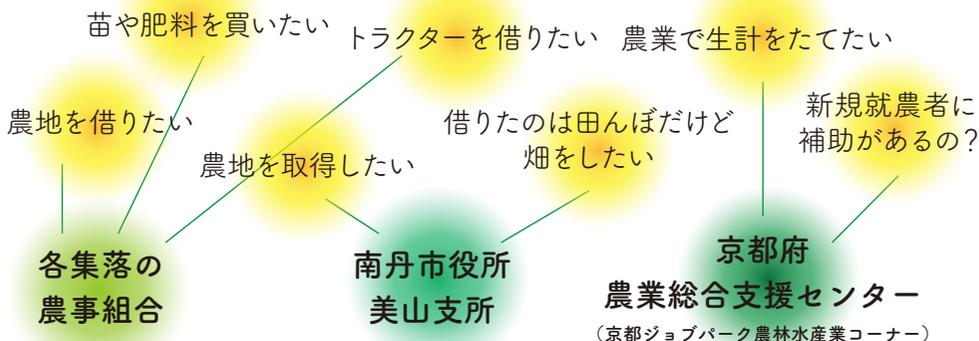
専業農家はもちろん、サラリーマンで兼業農家も大歓迎！

宮島では、農地を借りたい人には快く貸す雰囲気があります。

農業用水路や農道整備など共同作業があるので、地元の人とよく話し合ってから始めましょう。

● こんな時、どうすればいい？

どんな作物を、どんな規模で育てたいのか、地元の人に相談してみましょう。



農事組合は、各集落ごとにあります。

組合に入れば機械が借りられる場合もあるので、分からないことがあれば相談するようにしましょう。



守ろう！

農業をしない人も

宮島の美しい田園風景は、日々農業に取り組む人々がいるからこそ守られてきたもの。農地を持っていない人、農業をしない人も、草刈りや溝掃除などの呼びかけがあれば出るようにしましょう。このような日々の取組が、宮島の原風景を守ることに繋がっています。農業だけでなく、林業や漁業も同じこと。集落全体の貴重な資源です。

● 自然農法で作物を育てたい! 自給自足的な生活をしたい! 気をつける事は?

美山町の中では、自然農法で取り組んでいる人もいます。しかし、自然農法は難しいというのが、長年作物を作ってきた人たちの本音。まわりの田畑に、虫などの害がいかないようにするには、たいへんな手間がかかります。

同様に、自給自足的な生活に憧れ、農業を始める人もいますが、買うより作るほうが高くつくことも。現金収入を他で確保しながら始めるのが無難です。

しかし、自分で作った作物は他のものには代えがたい美味しさがあり、共同の農作業で地元の人との親睦も深まるなど、お金では測れない価値があります。農業と一緒に考えながら取り組む人を、宮島では待っています。

Pickup

都会に住んでも、田舎を自分ごととして考えられるサポーターづくり

宮島地区の中で一位二位を争う面積の田んぼを耕作している人…

それは、この道何十年のプロではなく、自転車好きが好じて移住したブラッキー中島さん。ウィーラスクール(自転車教室)とデザイン業を営みながら、米作りにも取り組んでいます。

自転車の聖地とも呼ばれる美山町。たくさんの自転車愛好家がやってきます。ファンたちが楽しんでいるのは、風景や人々とのふれあい。耕作放棄地が目立つようになる中で、農業を通して更なる地域のファンを作りたいと、スクールの生徒や親と、みんなで取り組む農業を復活させました。

作物の育つ様子を体感し、主食として米を選ぶ人、田舎を大切にする都会の人が増えればと、できるだけ機械化せず、無農薬栽培を選び、非効率を楽しめる農業を目指して取り組んでいます。地元の農事組合と一緒に取り組むことで、田舎の人も、都会の人の顔を思い浮かべながら農作物を作れるようになったのではと、ブラッキー中島さんは言います。

農業を通して一年間や、農業を通じてできた地域のコミュニティは、暮らしそのもの。親子で体感することで、田舎のことを自分ごととして考えられるサポーターを増やしています。

▼他地域からの子どもと一緒に耕す田んぼ

耕作放棄地が減って
助かっています!



宮島区民のHさん



3. 美山町宮島地区の様子

宮島地区の「主な行事」

十二月

敬老会

美山ふるさと祭り

美山ファンマラソン

十二月

山の神祭礼

大晦日

一月

新年会

とんど

厄除祭

正月飾りを焚いて無病息災を願う。
餅つきをする所も。
祈祷、お守りの配布、甘酒の接待などを行う。

冬季スポーツ大会

9 集落対抗のスポーツ大会。
室内競技で競う。

総会

集落ごとに集まり、
新年度の役員を選出する。



守ろう!

溝日役

田植えの季節に向け、水路を共同で整備する。
3〜4月にかけて行われる。



守りたい



水路整備



守りたい



慣例や習慣

檀家でなくても、1年の煩惱を払うために
寺に参って鐘をうたせてもらえると
区民が揃って新年を祝う。
新年祈願のお神酒をふるまうところもある。
林内作業の安全等を祈願するとともに、山のめぐみに感謝する。
全国から美山ファンが集まる。

・集落ごとにも行事があります。

P.25~42「宮島地区の集落の様子」を参考に!

十月 九月 八月 七月 六月 五月 四月

初総会

春祭り

草刈

クリーンデー(一斉清掃)

サイクルロードレース

サイクルグリーンツアー

夏祭り・盆踊り

運動会

クリーンデー(一斉清掃)

例祭・初宮祭

集落ごとに集まり、

新年度の事業計画や予算の審議など。

やまざと市(直売所)や、かやぶき美術館、長谷運動公園などで、春祭りが開かれる。地域住民の屋台等が出る。

公民館や河川敷など共同で使う場所を整備する。

5〜7月にかけて行われる。

宮島地区を中心に行われる全国規模の自転車ロードレース。

美山町全体で行われる

自転車の長距離サイクルイベント。

盆踊り・夜店・福引などをする。

全区民が5つのチームに分かれて競う。屋外競技。

4年に1度、美山町全体で競うオリンピックもある。

公民館や河川敷など共同で使う場所を整備する。

菅原神社例祭…3年に1度、男児による神輿と、

女児による稚児行列がある。

道相神社例祭…神楽奉納。みこしを担ぐ(車に乗せての移動も)



慣例や習慣



守りたい



夏祭り



慣例や習慣



守りたい

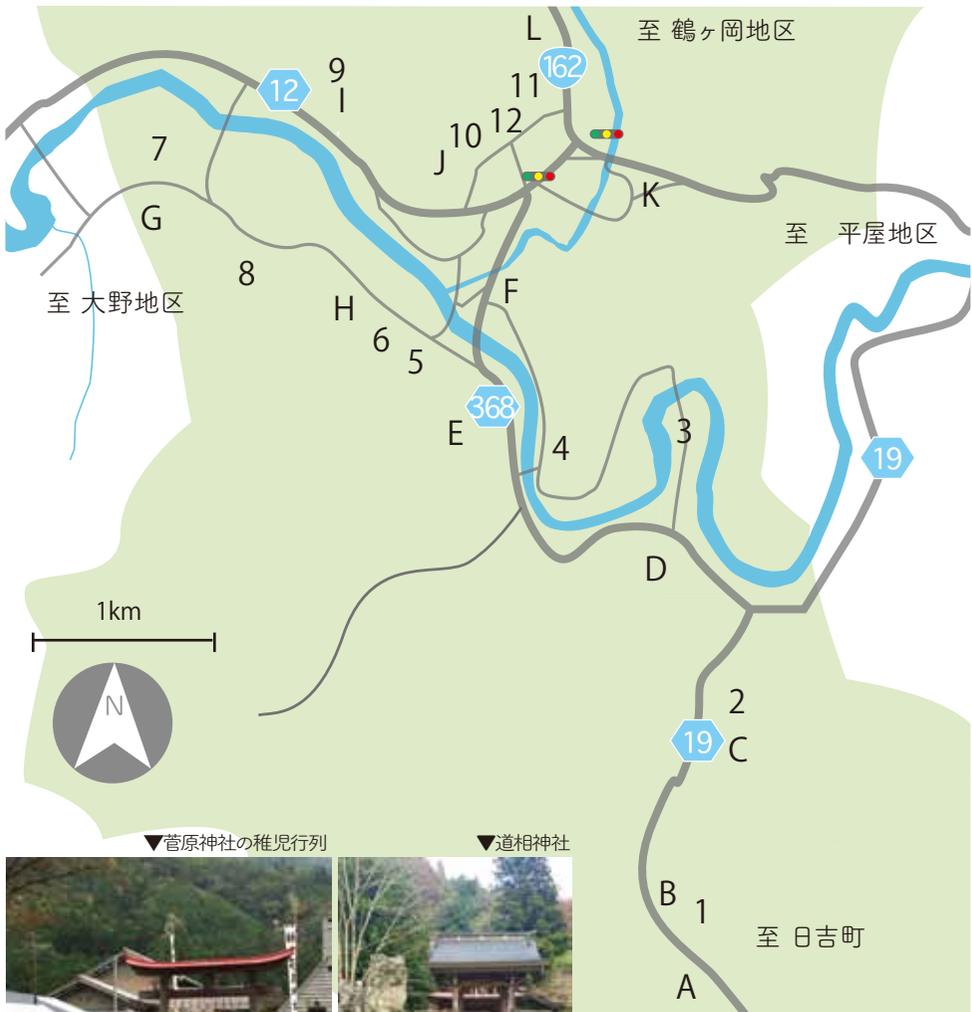


守ろう!

3. 美山町宮島地区の様子

宮島地区の「お宮さん、お寺さん」

昔ながらの暮らしに、お宮さん(神社)、お寺さんのことは、切っても切れないもの。氏子や檀家であっても、そうでなくても、地域の財産として大切に守っています。



●お宮さん一覧

No.	神社名	場所	守っている組織	おもな行事
1	愛宕神社	板橋	板橋区	
2	道相神社	宮脇	静原を除く宮島と平屋の氏子	秋季例祭
3	八幡宮	下吉田	下吉田区	秋祭り
4	稲荷神社	島	氏子	道祖神社祭礼
5	道寛神社	長谷	長谷区	例祭
6	恵比寿神社	長谷	泉龍寺	
7	愛宕神社	長谷	泉龍寺	
8	妙見宮	長谷	蓮華寺	
9	番人堂	上司	上司区	宵宮祭
10	武主神社	和泉	和泉区	武主神社祭典
11	菅原神社	静原	静原、和泉、上司、島、長谷の氏子	例祭
12	八幡神社	静原	元中村財産区	厄除祭、伊勢講、放出祭

●お寺さん一覧

No.	寺名	場所	宗派	おもな行事
A	放光寺	原	曹洞宗	施食会
B	遍照寺	板橋	高野山真言宗	施食会、観音講
C	玉泉寺	宮脇	浄土宗	施食会
D	頓乗寺	下吉田	真宗大谷派	報恩講、女性尼講
E	正願寺	島	真宗大谷派	報恩講
F	岩栖寺	島	臨濟宗南禅寺派	
G	泉龍寺	長谷	臨濟宗妙心寺派	
H	蓮華寺	長谷	日蓮宗	会式
I	本妙寺	上司	日蓮宗	会式
J	栄久院	和泉	臨濟宗妙心寺派	地藏盆
K	歓楽寺	静原	真言宗泉涌寺派	大師講、無縁経
L	光照寺	静原	臨濟宗相国寺派	涅槃講、達磨講

ここで紹介しきれないほど、年間通じてたくさんの行事ごとがあります。

昔からこの土地に住んで守ってきた人々の祈りのあかしです。

氏子でなくても神輿をかつげる神社や、檀家でなくても除夜の鐘がうてるお寺があるなど、信仰を越えた人々のつながりがあります。

季節にちなんだ行事も多く、日々をよりよく過ごすヒントが詰まっています。

4. 宮島地区の集落の様子

「原」集落

- ・美山町へ訪れる人を出迎える玄関口。
神楽坂トンネルを抜けると懐かしい風景が広がる。



【データでみる原】

- ・世帯数 約40戸 人口 約120人
- ・小中学生がいる世帯 0
- ・平成以降のIUターン世帯 3
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 5

【区費および振興会費】

毎月:3000円(振興会費含) 常会貯金:100円
組貯金(組による)

【独自の団体】

「原クラブ」 集落で持っている広場、お地藏様の清掃などを行っています。
「道相神社氏子会」「神楽保存会」「放光寺護持会」なども

日吉町から神楽坂トンネルを抜けた美山の玄関口。かつては西の鯖街道として旅人が行きました。かつて宿屋だった家は今でも「ミセ」と呼ばれ、その名残があります。

【神楽坂と原峠】

原集落では大昔、火災が頻繁にあり疫病が流行る大変な時代がありました。愛宕山の望める場所を探し神楽を奉納したところ沈静し、以後神楽坂峠と称され日吉町佐々江集落への人々の往来の場所となりました。昭和に入り神楽坂東側の原峠に車で通行できる道路ができ、平成9年には神楽坂トンネルが開通し、原集落は美山町への玄関口となりました。



▲神楽坂から見下ろした集落の景色

【集落みんなで日帰り旅行】

住民間の親睦を図るため、少しずつ積み立てを行い、3年に一度の日帰り旅行をしています。

【ホタルを守るための努力】

原集落では毎年ホタルのすみかを守るため、他の集落より遅い7月に河川の草刈りを行っています。7月には雑草が成長しきっており、刈り取りは大変ですが、それでも毎年ホタルの飛び交う幻想的な風景やその生息環境を後世に残すため住民みんなで頑張っています。



▲茅葺屋根も健在

【日役を報酬制度に】

草刈りなどの日役は、全世帯参加が原則で、欠席する場合は不参加金を払う地域も多いです。しかし原集落では、高齢者が無理をして出てきて危ないことも多いことから任意参加とし、参加すると報酬が貰える制度としています。



▲夏にはホタルが飛び交う

【慣習を合理化しつつ集落の良さを守っています】

参拝が大変だった愛宕、金毘羅、稻荷講の合同化や全戸強制参加だった日役の自由参加化(報酬制化)など、時代に合わせて慣習の合理化を図っています。一方で、ホタルを守るために雑草が成長するのを我慢して河川の草刈り時期を遅らせるなど、集落の良さは守り続けています。



▲放光寺

4. 宮島地区の集落の様子

「板橋」集落

・海老坂峠のおひざもと。旅人を受け入れる雰囲気があふれる西の鯖街道。



【データでみる板橋】

- ・世帯数 約36戸 人口 約108人
- ・小中学生がいる世帯 6
- ・平成以降のIUターン世帯 12
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 2

【区費および振興会費】

毎月：2000円＋振興会費300円

【独自の団体】

- 「やまざと市」 地元で育てた野菜や加工品の集まる日曜朝市。8～12時。(12～3月は9～12時)
- 「笑美坂MJクラブ」 カラオケやゲームをして楽しく笑顔になるサロン
- 「道相神社氏子会」「神楽保存会」なども

デザイナー、パソコンの先生、竹細工名人、華道の先生、レクリエーションインストラクターなど、技を持った人がたくさん住んでいます。

【地域のシンボル やまざと市】

神楽坂トンネルが1997年に開通したことを受け、原、板橋、宮脇の3集落で作ったやまざと市(日曜朝市)は、この地域のシンボルになっています。ここで売ることを励みに、お年寄りが野菜やお漬物作りなどをしています。やまざと市は、西の鯖街道・海老坂峠の麓にあり、名物・えびさか大福を作っている加工所や、手作りのピザ窯もあります。



▲美山やまざと市

【旅人が行きかった海老坂峠】

日吉町四ツ谷集落に通じる海老坂峠は、かつては一日100人以上の旅人が行きかう主要な道でした。以前はその人たちを受け入れる旅館やうどん屋、茶屋などがあり、その家は今もその名で呼ばれています。また、旅人の休憩場になっていた場所は「休場(やすみば)」という地名で残っています。見知らぬ人を受け入れてきた、板橋集落は、集落外から入ってくる人に対しておおらか。毎年8月15日の盆踊りでは、集落外の人でも受け入れ、一緒に踊ったり福引をしたりしてにぎやかです。この日に催行される「火あげ」の祭事では、愛宕の山から下る火の灯りでできた美しい行列を見ることができます。



▲愛宕山での火あげの祭事



▲盆踊り

【これからの期待 若い力】

板橋にお嫁に来た20代の女性がジャムやマフィンなどを作り、2016年からやまざと市、道の駅などに出品しはじめました。板橋を照らしたい! 元気にしたい! という想いを込めた「板橋テラス」の屋上で、なりわいを作り、板橋を将来にわたって持続可能な集落にしようと頑張っています。いずれはカフェを開き、そこで地元の方たちと一緒に楽しく様々なことをしていきたいということです。



▲海老坂 案内石



▲一本の木から五色の花が咲く遍照寺の椿

4. 宮島地区の集落の様子

「宮脇」集落

・景観を守る意識が強く、日本の原風景が守られている。



【データでみる宮脇】

- ・世帯数 約30戸 人口 約70人
- ・小中学生がいる世帯 7
- ・平成以降のIUターン世帯 5
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 5

【区費および振興会費】

区費:2800円 振興会費:300円

【独自の団体】

「気楽会」女性有志によるお話し会
「道相神社氏子会」「神楽保存会」なども

美山町の中でも特に堂が多く見られる集落で、都市部から鑑賞に来る人達も多い。



◀下吉田集落から宮脇集落に向かう車窓。四季折々に彩りが変わる山。(写真は雪景色)

【ぶつかり合って仲良くなる】

宮脇集落に移住したUターン者の話によると、地域に受け入れてもらえるまでに様々な苦勞、ぶつかり合いもあったそう。しかし、裏表なく真正面からぶつかり合ってもらえるので、集落の文化や振る舞いを体当たりで学べたそうです。

住めば仲が良く居心地の良い集落。「なぜ田舎暮らしをしたいのか？」を明確に持って移住すると、集落に馴染むのがスムーズです。



▲茅干しの様子



▲ふりーくおまる(直売所)



▲道相神社(宮島地区で一番大きな神社)

【日本の原風景が今も】

美山町の景観は誰もが認める日本の原風景で、住民でさえも、茅刈りなどを行っている時にふと見る景色は心洗われると言います。この景色は住民の高い意識から維持されており、きれいに草刈りをするのはもちろんで、宮脇集落では、モミジの木を植樹したり、観光や営業の看板は立てないようにしたりなど、景観の維持に配慮しているからこそ保たれています。

【子どもの声が響く集落】

宮脇集落はUターン者が5世帯と比較的多く、そのなかでも、子どもが4人という家庭もあります。



▲宮脇の風景。夏には蛍が乱舞する

4. 宮島地区の集落の様子

「下吉田」集落

・下吉田味噌の伝統が今も続く、川に囲まれた静かな集落。



【データでみる下吉田】

- ・世帯数 約30戸 人口 約40人
- ・小中学生がいる世帯 1
- ・平成以降のIUターン世帯 3
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 10

【区費および振興会費】

毎月：公民館費2500円＋振興会費300円

【独自の団体】

「下吉田味噌加工部」 詳しくは右ページへ
「道相神社氏子会」「神楽保存会」なども

複雑な地形の中にとり囲まれた知る人ぞ知る集落ですが、その魅力に惹かれ2世帯の外国人夫妻が移り住み子育てを行っています。

【下吉田味噌加工部】

子どもたちに安全な物を食べさせてあげたいと、1965年、女性を中心となって「あゆみ生活改善グループ」を結成しました。はじめてすぐに無添加の味噌作りをスタート。

地域の活性化と後継者育成のため、味噌を町の特産品にしようと、1989年に「下吉田みそ加工グループ」が生まれ、加工所を設けて本格的な生産が始まりました。味噌づくりは重いものを運んだり、熱気の中で作業したりと、重労働ですが、「いいものを作り続けたい」という気持ちで、「生涯現役」を合言葉に頑張っています。



▲出張して味噌作りを教える加工部



▲賑わいを取り戻した盆踊



▲安否確認の黄色い旗

【夏祭りと丹波音頭】

地域の一大行事であった盆踊りは、音頭取りをできる人がいなくなり長らく中止されていましたが、「このままではいけない」という地域住民の想いが高まり、周辺の集落の協力のもと2015年に復活しました。復活した盆踊りには地域を離れて暮らす子や孫も大勢参加し久々ににぎわいを取り戻しました。

【安否確認旗】

一人暮らしの高齢者が多い下吉田集落では、「黄色い旗」を玄関に朝出して夕方にする事で、お互いの安否確認をしています。



▲周囲を山と川に囲まれた静かな集落

4. 宮島地区の集落の様子

「島」集落

・かやぶき民家をはじめとする田舎の原風景を残す集落



【データでみる島】

- ・世帯数 約70戸 人口 約130人
- ・小中学生がいる世帯 5
- ・平成以降のIUターン世帯 8
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 13

【区費および振興会費】

毎月：公民館費2000円＋積立金2000円＋振興会費300円

【独自の団体】

「飛翔会」 消防をリタイヤしたOBのメンバーを中心に構成されています。

夏には川の水泳場で、地域の子ども達が泳ぐ姿が見られます。都会から来る子にも人気。環境整備や監視などは地域のPTAが行っています。

【かやぶきの魅力と芸術の発信 美山かやぶき美術館・郷土資料館】

美山かやぶき美術館は築150年の北山型入母屋づくりで、かやぶき民家の魅力と芸術文化を発信する施設。絵画、陶芸、ガラスなどの作品を展示しています。隣接の郷土資料館は、美山の暮らしをたどる民具や文献など約1000点の貴重な資料を常時展示しています。また寄席やコンサート会場としても活用されており、地域内外の交流拠点施設としての役割も担っています。

【開かずのロッカーから宝物 島公民館】

旧公民館の取り壊しの際に、長年開かずだったロッカーから墨で描かれた明治5年の集落の地図が出てきました。畳三畳規模の巨大な地図で、宮島地区でも大変珍しいものとして、地域の宝物として大事に保管しています。



▲集落の風景

【サロン】

島集落では、2つのサロンが盛んに活動しており、地域高齢者の集まる場として重宝しています。



▲サロンの様子

【加工グループ】

「島米粉里」という加工グループを立ち上げ、米粉を中心に製造し、全国に販路拡大を行っています。地域のイベントでも米粉を使ったワッフルなどを販売し、地域内での普及活動も熱心に行っています。

【地域の消防団OBが活躍する場】

「飛翔会」は、消防をリタイヤしたOBを中心に構成されています。夏祭りの出店や地域の草刈りなどの活動をしています。また、メンバー同士の仲が大変良く、旅行に出かけたりと、親睦を深めています。



▲近隣住民で整備している水泳場



▲地域の子も達が土壁の土を足で踏んで作ったり、手作りで公民館ができあがりました

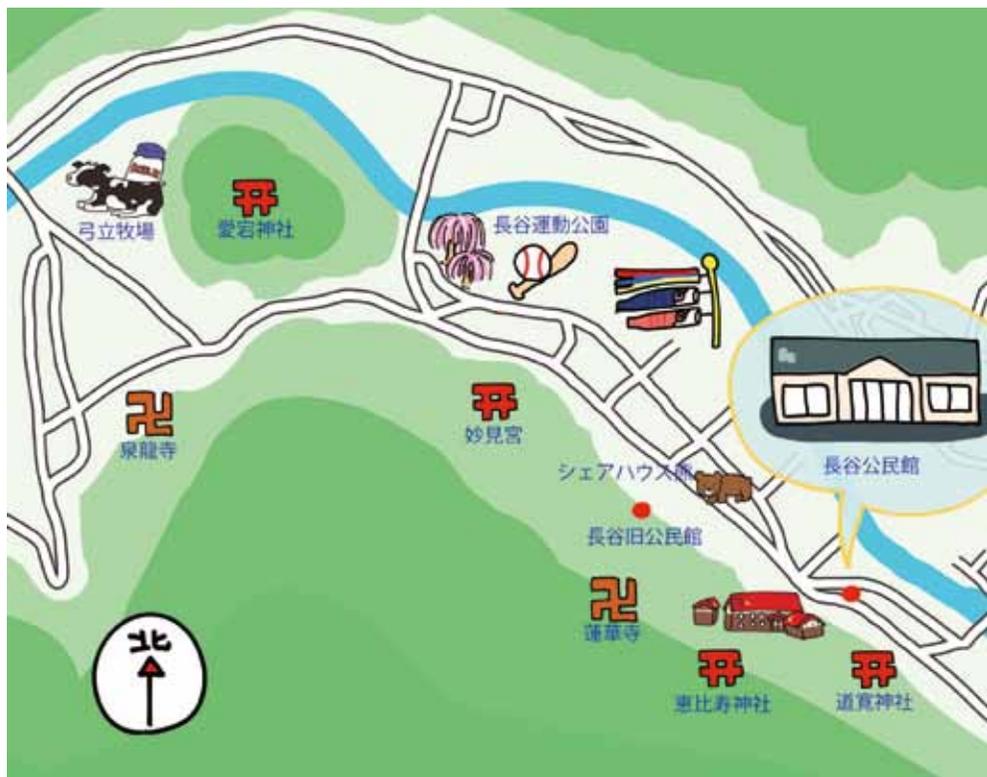


▲地域の集まりで振舞われる鯖寿司

4. 宮島地区の集落の様子

「長谷」集落

- ・芝居、スポーツ、飲み会…催しをどんどん行う！
- ・飢え死に不可能な集落。



【データでみる長谷】

- ・世帯数 約50戸 人口 約140人
- ・小中学生がいる世帯 5
- ・平成以降のIUターン世帯 10
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 7

【区費および振興会費】

毎月：1800円+振興会費300円

【独自の団体】

- 「壮進会」 概ね20~50代の男性有志で、長谷を盛り上げる企みを行っています。
- 「興親会」 概ね50代以上の有志で、情報交換や親睦を深める取組をしています。
- 「明日の長谷を考える会」 有志で、長谷の面白いことを色々と企画している会。桜の植樹なども。

美山町内では珍しいシェアハウスがあり、1ターン者の20代がシェアしています。もとのからの住人も、IUターン者も、みんなで参加できる飲み会が度々開かれるなど、交流が盛んです。

【皆で盛り上げる！桜と鯉のぼりの里】

長谷運動広場は桜の名所。美山町民にとってスポーツの中心地であり、町外からも沢山のスポーツチームが練習に訪れますが、この桜、元々あったものではありません。長谷集落の「壮進会」が中心となり、将来にわたって長谷を魅力ある場所にしようと、桜の植樹を続けてきました。また、「明日の長谷を考える会」は、家に眠っていた鯉のぼりを桜の時期から一足はやく出すよう呼びかけ。今では、谷じゅうに泳ぐ鯉のぼりと桜と一緒に見られる「長谷の里 花祭り」として、毎年盛り上がりを見せています。祭り当日は、住民による手作りご当地グルメの屋台やヨモギの餅つきなども用意され、町外の住民や都会に移り住んでいる親族などが集まります。今でも植樹を毎年呼びかけて維持に努めています。



▲こいのぼりと集落



▲よもぎ餅作りのイベントの様子

【都市部の大学生と地域課題解決に取り組む】

都市部の大学生が夏季休暇などを利用して農村部に滞在し、多様なプロジェクトを行う「Xキャンプ美山」。長谷集落に学生の滞在拠点があり、毎年40人ほどの学生がチームに分かれ、地域課題の改善に取り組んでいます。夏季以外にも地域行事に参加するなど、学生と地域の密接な関わりがあります。



▲Xキャンプ美山の取り組みのひとつ。各家庭にねむる古布で作ったオリジナルのれん

【美しい川と谷を守る】

長谷集落に沿って流れる由良川は、農業用水として使われるだけでなく、火事から暮らしを守る大切な存在。その水資源を守るため、年間通じて、河川敷の草刈りや、水路清掃などの日役があります。川と山の間には広がり、かやぶき屋根の民家も残る長谷の風景は、こうして守られています。



▲住民で守るあぜ道

【長谷フォトギャラリー】



▲夏祭りでは長谷に詳しくなれるOXクイズも



▲都市部からの学生と一緒にBBQ！



▲こいのぼりと桜

4. 宮島地区の集落の様子

「上司」集落

・住民同士の仲が良く、集まると何時間でもおしゃべりに花が咲く。



【データでみる上司】

- ・世帯数 約20戸 人口 約40人
- ・小中学生がいる世帯 1
- ・平成以降のIUターン世帯 1
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 6

【区費および振興会費】

毎月：1500円+振興会費300円

【独自の団体】

「さざなみ会」

65歳以上女性で月1回サロン

河川敷にはススキ野が広がり、ススキの向こうに沈む夕日を撮るカメラマンをよく見かけます。桜並木があり、キジもよくやってきて、郷愁を誘う景色が見られます。



【屋号に歴史あり】

上司集落は、大野地区と長谷集落、和泉集落を行き来する人が通る場所で、大正から昭和初期にはたくさんの商店や旅館が立ち並んでいました。現在も鍛冶屋さんが続いており、廃業したところでも屋号にその名残があります。髪結さん、下駄屋さん、酒屋さん、いかけやさん、饅頭屋さん、はま屋さん（下駄の鼻緒をすげる店）など。



▲都市観光交流施設「百日紅」

【四季折々の美しい景色】

花が好きの人が多く、家の前にはきれいな花が植えられています。春は花桃、夏はさるすべり、秋は本妙寺の大きなイチョウの黄葉が見られ、四季の美しさを感じさせてくれます。

道路沿いにある「百日紅(ひやくじこう)」の大きなさるすべりは、昔から植えられていました。ここは宮島村時代の村長さんのお家で、集落のシンボリック建物となっており、今は都市観光交流施設として使われています。



▲字見橋から見た上司方面

【耳の病にご利益あり 薬師堂】

本妙寺にある薬師堂は耳の病気に霊験あらたかと言われています。以前はたくさんの方がお参りに来て夜通し祈られたりしていました。願掛けが成就すると、真ん中に穴をあけた石を

お供えしたそうです。耳の遠い人がこの石を耳にあてるとよく聞こえるようになったという話もあり、この石が今もお堂にいくつも残っています。



▲本妙寺薬師堂

【集落で囲らんができる】

毎年のお新年会では昼から夜までお酒を飲み、おしゃべりに花が咲きます。何時間話しても飽きない、住民同士の仲がとても良い集落です。



▲本妙寺の灯籠はよく見ると変わった形

4. 宮島地区の集落の様子

「和泉」集落

・「よそのもの」率100%の組もある。伝統を大切にしつつ新しいものを取り入れる集落。



【データでみる和泉】

- ・世帯数 約100戸 人口 約230人
- ・小中学生がいる世帯 8
- ・平成以降のIUターン世帯 8
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 10

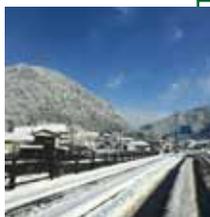
【区費および振興会費】

毎月:1400円 振興会費:300円

【独自の団体】

「和社会」 消防団員を辞めてから老人会までの人で構成された組織

「にこにこ会」 3組(和泉の中に10組の隣組があるうちの3番目の組)の交流を深めると共に、地域のボランティアもする。



▲雪景色の商店街方面

泉が湧き水脈豊かであったことに名前の由来がある和泉集落。かつて文化町と言われた三叉路や、美山町内では最も生活必需品が揃う「えびす商店街」がある。全員Iターンで構成された組があるなど、現役世代が活躍する賑やかな集落。

【伝統行事を伝える】

和泉集落では公民館を利用し、敬老会、盆踊りやとんどなどの伝統行事を熱心に取り組んでいます。特に、農事組合主催の収穫祭は30年以上続いており、敬老会と同じ日に行うことで非農家さんがその日野菜を購入するなど住人の交流もできる場となっています。



▲盆踊りの様子

【すでに美山名物!?自転車と米作りの活動】

サイクルステーション「CYCLE SEEDS」が2016年にオープンしました。自転車だけでなく自然体験や農業体験、そして文化体験など多くのコンテンツを生み出し、サイクリストと住民双方を紡ぐ「場」を創り出すことを目的としています。サイクルステーションの運営は、全国で子ども向け自転車教室を開かれています。ブラッキー中島さんがされています。



▲CYCLE SEEDS

【薪ストーブのお店と地域に愛されるカフェ】

薪ストーブの販売所と併設のカフェ「美山エビスウッズガーデン」は、美山町の観光の拠点施設にもなっています。



▲美山エビスウッズガーデン

【夜泣き封じのお地藏さん】

子どもの夜泣きで困った時にお参りする「夜泣き地藏」が、栄久院の横にあります。古来より、このお地藏さんは夜泣き封じのご利益があると、言い伝えられています。



▲武主神社

【武主神社】

武主神社は、古くから百姓の神として崇められています。毎年10月2日お祭りがあり、宮島地区で秋祭りが一番早く執り行われます。

【街道跡の道しるべ】

昔、府道と谷川の交差するあたりに、街道の交差点があったそうで、当時の“道しるべ”が現在も残っています。



▲道しるべ

左
た
かの
わ
か
さ

4. 宮島地区の集落の様子

「静原」集落

- ・「農地をどう守り、農業をどう続けるか」を真剣に考える人に溢れた場所。
- ・様々な業種の事業所が集まる集落。



【データでみる静原】

- ・世帯数 約55戸 人口 約138人
- ・小中学生がいる世帯 4
- ・平成以降のIUターン世帯 4
- ・70歳以上の一人暮らし世帯 15

【区費および振興会費】

毎月：1000円(事業所からも徴収、65歳以上の単身者、不在世帯は半額)
振興会費：300円/月 電灯料：1600円/月

【独自の団体】

「静原の農業を考える会」農作業支援と静原地区内農業(農地の保全、後継者対策等)の方向性を検討する会。

静原集落に寝かせている薪。切り出し寝かせて乾かして、よくもえるようになった頃に、都市部など薪が手に入りにくい所に宅配しています。



【農業を志す人大歓迎】

静原集落には、約12ヘクタールの水田が広がっています。しかし、農業従事者の高齢化と後継者不足から、農業の継続の困難になってきました。そこで農業従事者有志が集まり「静原の農業を考える会」を発足しました。

同会では、後継者不在農家の農地保全支援活動とともに、農業をやりたい若者を受け入れたいと考えています。共に静原集落の農業を守り盛り上げる人を待っています。



▲山の谷間に広がる整備された静原の農地

【地域のコミュニティカフェすずらん】

コミュニティカフェすずらんは、明るく誰でも入りやすい店内で、引きこもりがちだったお年寄りが話をしに来店されたり、一人で立ち寄ったお客さん同士の新しい出会いの場や、仕事の打ち合わせなどで使われるようになったりと、コミュニティづくりに一役買っているカフェです。名物のたこ焼きは、外はカリカリ中はふわふわで絶品。たこ焼きの屋台を20年ほど地区のお祭りなどで出していたメンバーが中心となってはじめました。テイクアウトも可能で遠くから電話予約されるお客さんも。店内に展示されている絵や俳句は、地元の人々の作品で、スピーカーや食器なども地元の人がプレゼントしてくれたそう。地元愛の詰まったカフェとなっています。

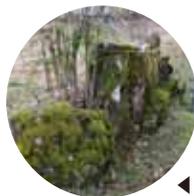
(毎週木・金・土曜営業)



▲コミュニティカフェすずらん

【えびす岩】

「えびす岩」は昔、若狭から来た海産物の商人や、京都市方面から来た物売り達が荷を解いて市をたて、表面が平らな岩をせり台にして商いをしたことから名付けられたとされ、今に伝わっています。今でもこのあたりを「元市場」と呼び、毎年11月に祭典があります。



◀えびす岩



▲厄除祭の風景

【厄除祭】

静原の八幡神社は、同地にある菅原神社より以前の建立で、境内には美山町唯一の厄除神社があります。

5. 南丹市の様子

南丹市ってこんなところ

【森・里・街がきらめくふるさと】

南丹市は、2006年に船井郡園部町・八木町・日吉町と北桑田郡美山町が合併して誕生しました。2017年現在、人口約3万2千人、面積は約600km²で、琵琶湖や東京23区とほぼ同じ広さです。



園部町

南丹市役所本庁や税務署、保健所、警察署、消防署など、南丹市の行政の中心として機能しています。民間施設としては、大型のスーパーマーケットやホームセンター、ドラッグストアなどがあります。井筒八つ橋や湖池屋などの工場から、西の軽井沢ともよばれる湊谷、り湊まで、幅広い環境があります。南部は大阪や兵庫と接しています。



八木町

京都駅から八木駅まで電車で30分。桂川の上流に位置する大堰川が流れ、夏は花火大会が盛大に開かれます。駅前には商店街が広がり、南丹地域で最大の病院、「京都中部総合医療センター」(南丹病院)があるなど、生活に便利な施設が揃っています。それでいて、広大な田畑もあり、京野菜や米の栽培が盛ん。男前豆腐や虎屋などの工場もあります。



日吉町

京都の中心に位置し「京都のへそ」とも呼ばれ、日本海と太平洋へ水系が分かれる「分水界」があります。昔から林業で栄えてきました。近畿地方最大規模の日吉ダムは桂川の上流にあたり、京都市や亀岡市など下流地域を水害から守っています。その資源を利用し、3億年前の地層から湧き出る温泉水を利用した施設、「スプリングスひよし」があります。



5. 南丹市の様子

移住者を応援し守る制度「住居」

南丹市は移住者や新規就農者に対し、様々な支援制度を設けています。
期間や人数制限があるため、必ず市役所まで問い合わせ、ご確認をお願いします。

▶ 南丹市定住・企画戦略課 Tel : 0771-68-0003

南丹市の窓口

【空き家バンク】

「空き家バンク」とは、空き家などを売りたい、貸したい方に登録していただいた情報を、利用を希望する方にマッチングする制度です。



▶ 南丹市定住促進サポートセンター(なんたんDOOR)

南丹市への定住・移住を希望する者に対し、必要な情報の提供や支援を行うとともに、定住・移住者の受け入れのため、空き家バンクをベースに、空き家所有者と、賃貸・購入希望者のマッチングを行っています。

〒629-0322 京都府南丹市 日吉町四ツ谷 柏木14
(旧五ヶ荘小学校職員室)

TEL. 0771-68-1616

相談時間: 月曜日から金曜日(祝日を除く)

午前9時から午後4時



【なんくら】

南丹市で暮らすための情報が集まるwebサイトです。

<http://www.nancla.jp/>



都市部の窓口

【京都移住コンシェルジュ】

京都、大阪、東京に相談窓口を設置し、都市部での田舎ぐらしセミナーや現地見学ツアーなどのイベントも開催しています。

▶ 京の田舎ぐらし・ふるさとセンター

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入ル丁子風呂町104-2

京都府庁西別館2階 京都府農業会議内

TEL. 075-441-6624 <http://conciierge.kyoto-iju.com/too/>

相談時間：月曜日から金曜日（祝日を除く）午前9時から午後5時

【住宅支援制度について】

<南丹市Uターン者住宅購入・新改築支援商品券交付事業>

・新築建築

4年間で100万円分の商品券を交付(2020年3月31日までの申請)

・新築購入

4年間で100万円分の商品券を交付(2020年3月31日までの申請)

・中古購入

3年間で60万円分の商品券を交付(2020年3月31日までの申請)

<登録空き家・登録農地限定支援制度>

・不動産取得税の軽減

対象地域の空き家・農地を取得した場合の

不動産取得税を軽減(税率:通常の1/2)

・空き家改修等の助成

対象地域限定で取得または賃借した空き家の

改修費用10分の10を助成(補助金最大180万円)

他にも、時期や条件によって様々な支援制度があります。

また、ここに載っている情報も変更となる可能性があります。

詳しくは、南丹市定住・企画戦略課まで、お問い合わせください。

5. 南丹市の様子

移住者を応援し守る制度「消防・防災」

●消防団って？

消防団は、火災だけでなく地震や水害などあらゆる災害から地域を守る担い手です。消防署に勤める地方公務員の消防官でなく、地域の住民らが団員として活動しています。活動は防火パトロールのほか、いざという時のために小型ポンプ、ポンプ車など消防機材を用いた訓練を随時行っています。また、地域コミュニティーの担い手としての側面も大きく、地域の祭りなどに店や運営で協力しています。基本的に毎月1日の夜に火の元点検で家々をまわります。

●宮島地区の消防

南丹市の消防団には、約1500人が在籍しています。美山町には5分団17支部あり、宮島の属する分団は2つの支部にわかれて活動しています。

第一部(原・板橋・宮脇・下吉田)

第二部(和泉・静原・上司・長谷・島)

訓練後には親睦会があり
地域の情報交換の場として
一役買っています！

●操法大会について

2年に一度、消火活動の技能を競い合う操法訓練大会があり、小型動力消防ポンプや消防ポンプ自動車を使った放水訓練を行います。部によって異なりますが、操法大会前の訓練は週に2,3回、20時から約2時間行われています。



●防災無線について

災害情報や、熊の出没、イベント情報などは、各戸に設置されている防災無線受信機から放送されます。この無線受信機は、市役所から無償で貸し出されます。

▶問い合わせ：南丹市総務課 0771-68-0002

昼12時と夕方17時には
大音量の音楽がなります。
びっくりしないでね!

●防災メールについて

南丹市ホームページより「なんたんメール(防災メール)」に登録すると、気象災害情報がメールで配信されます。

▶問い合わせ：南丹市情報政策課 0771-68-0066

●雪対策について

10cm以上の積雪時には、府と市による除雪作業が行われます。公道や歩道は行政から依頼された民間業者が除雪作業を行っていますが、すべての道が対象ではないため、各戸で除雪をしなければならない場合もあります。自力での除雪が困難な人を対象に、除雪依頼費用の一部を軽減する制度もあります。(高齢者等除雪対策事業)

●原子力防災について

美山町は、福井県高浜原発・大飯原発の30km圏内に位置しています。避難計画など詳しくは、市役所で配られる「原子力防災のしおり」をご覧ください。

●避難場所

		一時避難場所	収容避難場所
1	原	原公民館	美山小学校
2	板橋	板橋集落センター	
3	宮脇	宮脇公民館	
4	下吉田	下吉田集落センター	
5	島	正願寺 島公民館	美山中学校
6	長谷	長谷運動公園管理棟	
7	上司	上司公民館・本妙寺	
8	和泉	美山福泉館 和泉公民館	
9	静原	静原公民館	

5. 南丹市の様子

南丹市の「子育て」

南丹市は子育て世帯に対し、様々な支援制度を設けています。

▶ 南丹市子育て支援課 Tel : 0771-68-0017

【のびのびなんたん】

南丹市の子育て情報を掲載しているサイトです。

<http://nobinobi.nancla.jp/>



●祝い金・手当

【子宝祝金】

子どもの出産を祝福し、祝い金を支給します。出生児1人につき5万円。

▶ 子育て支援課 Tel.0771-68-0017

【子育て手当】

5歳未満の子どもを養育している方に手当を支給します。

第1子…2000円 第2子…3000円 第3子以降…5000円（月額）

▶ 子育て支援課 Tel.0771-68-0017

【入学祝金】

子どもの小・中学校入学を祝福し、祝金を支給します。

小学校入学…3万円 中学校入学…4万円

▶ 子育て支援課 Tel.0771-68-0017

全国トップクラスで

医療費が
安い!!!

【南丹市子育て支援医療費助成制度+京都子育て支援医療助成】

京都府内の医療機関窓口において、受給者証と健康保険証を提示することで

1ヶ月ごと1医療機関につき200円の自己負担で受診することができます。

16～18歳は一旦窓口で3割分負担を支払った後、窓口申請することで1ヶ月ごと

1医療機関につき800円の自己負担になるように差額が支給されます。

【不妊治療等給付事業】

不妊治療または不育治療を受けている方に対し、その治療に要する経費の一部を負担します。

▶ 南丹市保健医療課 Tel.0771-68-0016

【妊産婦健康診査公費負担受診券】

妊婦の方が健康診査を受ける際、公費負担が受けられる受診券を交付します。

▶ 南丹市保健医療課 Tel.0771-68-0016

【妊産婦訪問】

妊産婦の方がいる家庭に、保健師・栄養士などが訪問し、栄養相談や検診の案内等について応えます。

▶ 南丹市保健医療課 Tel.0771-68-0016

【養育支援訪問事業】

育児疲れや子育てなどが難しい世帯に対して、子育てサポーターを派遣し、子どもの世話や家事など必要な支援を行います。

▶ 子育て支援課 Tel.0771-68-0017



【ちやいるす】

子どもの健康に関する情報やコラムを掲載しているポータルサイトです。

ユーザー登録することで、乳幼児健診や予防接種の記録を管理することができます。

▶ <http://chails.jp/>

【まもっぷ】

「まもっぷ」は、子育て家庭がお出かけする時の“お守り”アプリと“電子マップ”です。

お出かけがお得に楽しくなるスポット情報や、安心・安全にお出かけして

もらうための救急医療機関情報、＃8000への簡単アクセス機能、

こどものいざという時のために役に立つ情報などを掲載しています。

▶ <http://mamopp.jp>



【ぼこぼこくらぶ】

子どもを遊ばせるだけでなく、お母さんもほっこりできる居場所を提供。託児付き講座や季節イベントも開催。スタッフが常駐していますので、気軽に遊びに来ていただけます。

①美山…木曜日 10:00~15:30

②日吉…火曜日 10:00~15:00 ③園部…木曜日 10:00~15:00 ④八木…月火水金曜日 10:00~15:00

▶ NPO法人グローアップ Tel.080-3857-8119 growup0808@yahoo.co.jp

【子育てすこやかセンター】

親子が気軽に集い、遊びやふれあいを通してコミュニケーションを図る場を設けています。

子育てサロンの開放日…月～金曜日9:00~12:00 13:00~17:00

▶ 子育て支援センター「南丹子育てすこやかセンター」 Tel.0771-68-0082

●南丹・美山の子育て

自然の中でのびのび育てられる環境を探して、南丹に来られる家庭も少なくありません。

美山町には、美山小学校、美山中学校、北桑田高校美山分校があります。

小中学校には通学バスで通っています。(宮島地区は徒歩や自転車での通学も)

小学校1年から5年の児童には、放課後の遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ」などの取り組みもあります。

5. 南丹市の様子

南丹市の「医療・交通・情報」

●医療事情いろいろ

南丹市には、南丹地域で最大の総合病院、京都中部総合医療センター（南丹病院）があります。宮島地区のある美山町には、美山診療所があるなど、それぞれの地域に診療所や開業医院があり、京都中部総合医療センターと連携して、市民の健康をサポートしています。ほかにも、明治国際医療大学付属病院で鍼灸治療ができたり、ヨガやサイクリングの取り組みをしている活動家がいったり、病気が重くなる前に健康になれるきっかけがたくさんあります。季節野菜が手に入りやすく、昔ながらの健康を保つ知恵を持つ人が身近にいる環境で、一生涯を通して元気に活動される方が多いです。

【美山診療所】

▶ TEL. 0771-75-1113 <http://www.cans.zaq.ne.jp/fuamh707>

【京都中部総合医療センター】

▶ TEL. 0771-42-2510 <http://nantanhosp.or.jp>

【京都健康医療よろずネット】

京都健康医療よろずネットでは、京都府が収集した病院や診療所、薬局等に関する情報を提供しています。施設の情報だけでなく、健康診断の実施状況や診療可能な疾患、治療内容など、様々な情報を閲覧できます。また、休日などに受診することができる身近な医療機関の情報なども検索可能です。

▶ 京都健康医療よろずネット<http://www.mfis.pref.kyoto.lg.jp/>

●交通…買い物について

南丹市には、宮島地区から車で約40分の園部町に、スーパーマーケットやホームセンターなどの一般的な買い物施設があります。美山町には個人商店のほかに、住民出資でできた売店や直売所が地区ごとにあり、新鮮な季節野菜が身近なところで手に入ります。日本海から魚を積んだトラックが来ることも。生協や四つ葉などの宅配サービスを利用する家庭も少なくありません。

宮島地区のお店情報は、P.15「主な施設」へ

●交通…公共交通について

南丹市には、南丹市営バスの他にも、予約制の外出支援サービスがあります。



【デマンドバス(乗用車タイプの予約制バス)】

車を運転しない人の移動手段を確保するため、日吉町、美山町、八木町でデマンドバスを運行しています。

- ▶美山地区…京都みやび交通 TEL. 0771-75-1197 大人150円～400円 小人80円～200円
- 日吉地区…タニタクシー TEL. 0771-74-0029 1乗車 大人250円 小人130円
- 八木地区…京都タクシー TEL. 0771-42-2163 0771-24-0666

【外出支援サービス(過疎地域有償運送)】(日吉町、美山町対象)

依頼すれば、南丹市社会福祉協議会の自家用車で送迎してもらえます。

利用できるのは、移動制約者・住民で、会員登録した人に限ります。

- ▶利用者負担額…保険料1000円、目的地まで30km以内500円、以降10kmごとに100円加算。

何分でどこまでいける？車での所要時間はP.11「美山町はどこにある？」へ

●情報媒体について

南丹市では、ケーブルテレビや定期刊行物など、情報を伝える媒体が複数あります。

【ケーブルテレビ・インターネット】

南丹市では全域にCATV網によるケーブルテレビとインターネットサービスを実施しており、山間部であってもテレビやインターネットが利用できるようになっています。ケーブルテレビ(11チャンネル)のなんたんテレビを通じて、地域情報、防災情報、公共機関情報を配信しています。

- ▶南丹市情報センター TEL.0771-63-1777 <http://nantantv.or.jp>



なんたんテレビ
じゅうちくん

【定期刊行物】

主な定期刊行物に「広報なんたん」(隔月)、「おしらせなんたん」(月2回)があり、全戸配布されます。宮島地区には、宮島振興会が発行する情報誌「あしおと」があり、宮島区民に全戸配布されます。振興会の取り組みや行事の案内、収支報告だけでなく、住民からの情報も掲載されます。

【メールサービス】

南丹市教育委員会が、幼児や小中学校の保護者向けに、緊急情報(不審者、危険動物の出没など)やイベント情報などを、メール配信する無料サービスを行っています。

6. データ集

こんな時は…？逆引き辞典

▼まずはじめに知っておこう

- ・これは知っとけ！住人の想い、移住者の声…P.7.8
- ・引っ越したらまずこれをしよう！…P.9.10
- ・宮島地区の団体いろいろ…P.17.18
- ・宮島地区の主な行事…P.21.22

▼住まい

- ・家を探す…P.45.46(空き家バンク、住宅支援制度など)
- ・生活にまつわるお店…P.15.16(宮島地区の主な施設)

▼医療

- ・病院を探す…P.51.52(病院情報)
- ・子どもに対しての医療…P.49.50(子育て世帯への医療補助など)
- ・宮島地区の施設…P.15.16(宮島地区の主な施設)

▼子育て

- ・宮島地区の子育て事情…P.50
- ・子育て相談の場所…P.50
- ・学校、保育所、図書館の場所…P.15.16
- ・子どもに関する祝い金、手当など…P.49

▼交通

- ・宮島地区から何分でどこまでいけるか…P.11.12
- ・公共交通について…P.52
- ・宮島周辺の地域のこと…P.13.14(美山町)、P.43.44(南丹市)

▼買い物

- ・宮島地区の店…P.15.16(宮島地区の主な施設)
- ・美山町内の場所紹介…P.13.14
- ・買い物事情…P.51

▼田んぼ、畑、自然

- ・農業がしたい、畑を持ちたい…P.19(農事組合など)
- ・都市間交流農業体験…P.20
- ・年間行事…P.21.22(共同で一斉に環境整備をする“日役”がある)
- ・遊泳場…P.33

▼神社とお寺

- ・お宮さん、お寺さん…P.23.24(宮島地区内の寺社仏閣と主な行事)

▼お祝いごと、お葬式、墓地のこと

- ・お祝いごと、おくやみごと…P.10(香典など)

▼消防・防災

- ・消防団について…P.47
- ・防災無線について…P.48
- ・雪対策について…P.48
- ・避難場所について…P.48
- ・原子力防災について…P.48

▼情報

- ・ケーブルテレビ、インターネット…P.52
- ・定期刊行物…P.52
- ・集落内での連絡伝達…P.18

6. データ集

電話帳

宮島振興会	0771-75-5100
南丹市役所美山支所(地域推進課)	0771-68-0040
南丹市定住促進サポートセンター	0771-68-1616
南丹市役所定住・企画戦略課	0771-68-0003
南丹市役所住宅課	0771-68-0062
南丹市役所保険医療課(検診など)	0771-68-0016
美山診療所	0771-75-1113
京都中部総合医療センター	0771-42-2510
南丹市子育て支援課	0771-68-0017
南丹市子育てすこやかセンター	0771-68-0082
南丹市社会福祉協議会美山事務所	0771-75-0020
南丹市教育委員会教育総務課	0771-68-0055
南丹市立美山小学校	0771-75-0017
南丹市立美山中学校	0771-75-0027
南丹市立みやま保育所	0771-75-0133
南丹警察署宮島駐在所	0771-75-0024
南丹警察署宮脇駐在所	0771-75-1659
美山かやぶき美術館・郷土資料館	0771-75-1777
京都みやび交通(デマンドバス、タクシー)	0771-75-1177
南丹市営バス美山営業所(時刻表など)	0771-75-1666

集落の教科書シリーズ
宮島田舎暮らし読本

南丹市美山町宮島地区

2017年3月 第1版

【発行】

南丹市美山町宮島振興会

〒601-0751 京都府南丹市美山町島往古瀬29

TEL. 0771-75-5100

上田 武司 篠田 義治 武田 義史 橋本 和吉 村田 文雄
鉦谷 里美 菅生 哲二 谷 延夫 秦 洋祐 山内 利一
北川 登男 高橋 信雄 中島 清己 樋口 三千男 山崎 賢司
倉内 喜久雄 竹内 義己 中島 武男 丸山 修 山崎 裕和
佐野 清 武田 英男 中藤 講 南 清 山添 喬

【編集】

南丹市地域おこし協力隊

〒629-0322 京都府南丹市日吉町四ツ谷柏木14
南丹市定住促進サポートセンター(なんたんDOOR)
TEL. 0771-68-1616

藤村 香菜子

相川 仁 太田 彩美 佐田 祥毅 玉木 青 前田 敦子 松田 章宏 村上 直代

【協力】

特定非営利活動法人テダス

〒622-0002 京都府南丹市園部町美園町7号9-1
TEL. 0771-68-3555

高橋 博樹 田畑 昇悟

【表紙・地図】

表紙デザイン 中島 隆章

地図作成 赤木 和輝 西村 雄介



原
板橋
宮脇
下吉田
島
長谷
上司
和泉
静原



良いことも そうでないことも ちゃんと伝えたい



発行日 2017年3月31日
発行元 美山町宮島振興会 京都府南丹市美山町島往古瀬 29 0771-75-5100
編集元 南丹市地域おこし協力隊 京都府南丹市日吉町四ッ谷柏木 14 0771-73-0605